

トークンレス・ワンタイムパスワード

# PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v4.1.2)

2019/4/16



## 1. リリースノート

# PassLogicの歩み

マトリックス専用から「多要素認証プラットフォーム」へ高機能化！

1997

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000-2006

パソロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2008

Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。



2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！  
(ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IJなど)

70万ID突破

2015



100万ID突破

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。ソフトウェアトークン提供開始

2017



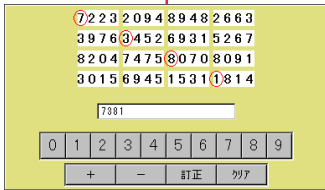
IPアドレス制限、Windowsログイン、PKIに対応のメジャーバージョンv3.0リリース。

ハードウェアトークン対応、API提供開始のv3.1リリース

110万ID突破

1997

2000



PassLogic認証方式が米国特許(US6141751)を取得。会社設立。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ&SSO) を実装。LDAPからのユーザーID同期を実装。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破

2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破



2016

利用者視点の機能強化を中心に、計5回のバージョンアップ、約70の機能追加・改善を実施。

2019

エンタープライズ版にマルチテナント機能提供開始

2019



# V3系のライフサイクルについて

2019年3月のPassLogic Ent v4系のリリースに伴い、v3系のライフサイクルが下記の通り確定しております。

対象バージョン	EoS	EoL
PassLogic エンタープライズ版 v4系	v5.0の提供開始後に日時決定	EoSから5年後
PassLogic エンタープライズ版 v3系	2019/8/31	2024/8/31
PassLogic エンタープライズ版 v2系	2017/11/18	2022/11/18
PassLogic エンタープライズ版 v1系	2015/10/15	2020/10/15

メジャーバージョンアップ版は年間保守サポートサービスのなかでソフトウェアプログラムをご提供します。

EoS : End of Sales (販売終了)  
EoL : End of Life (サポート終了)

# リリースノート

## 【仕様変更】

- テナント名に使用可能な文字にアンダーバー（\_）が追加されました。

## 【不具合修正】

- Ent-v4.1.1において「ログをsyslogに出力する」の項目のデフォルト値がONとなっていたのを OFF としました。
- Radius連携におけるSSOのPOSTパラメータに「&=」が含まれる問題を修正しました。

## 【脆弱性修正】

- 管理ツールにログイン後のUIの一部にOSコマンドインジェクションがあり修正されました。

